【教育目標】　◎明るくやさしい子ども　　◎進んで学習する子ども　　◎健康でがんばる子ども

旭田っ子だより

令和　３年　９月３０日（木）
旭田小学校学校だより　No.６
文責：　校長　　天野　　　圭

【コロナ禍での学びの保障について】

１０月は、新型コロナウィルス感染症拡大防止対策を十分に講じ、延期してきた行事等を実施することにより、子どもたちの学びの保障に力を入れていきたいと考えております。
主な行事のみ、実施の有無について記載させていただきます。

・運動会（10/ 2）　　　　　　感染症対策を十分に講じて実施
☞事前に検温。雨天時は、10/3 の予定
・芸術鑑賞教室（10/6）　　　感染症対策を十分に講じて実施
・合奏祭（10/13）　　　　　　感染症拡大防止に配慮して不参加
・チーム旭田発表会（10/16）　感染症対策を十分に講じて実施
☞事前に検温。室内なので、参加者制限有り
・ふれあいハイキング（10/21）感染症対策を十分に講じて実施
☞悪天候時は、感染症対策を十分に講じて、学校で実施
・ジュニアマラソン大会（11/6）保護者の人数制限を設けて実施
・校外学習について　　　　　　感染症対策を十分に講じて実施
☞各担任より実施前におたより等で通知

【ラジオ体操第一について】

運動会で最初に演技をする「ラジオ体操第一」は、約 100 年前に策定されました。当時はラジオ体操第五まであったそうです。現在は、第二までになっていますね。
そのラジオ体操第一ですが、現在でも会社や市役所等では、朝の体操として実施しているところも多いようです。また、テレビでは、テレビ体操として、いすに座っての動きも紹介されています。以前の中・高等学校の保健体育教員採用試験では、必ずラジオ体操第一か第二の実技が課せられていました。３分程度で１３種類の短い運動ですが、無理なく、だれもが、いつでも踊ることのできる考えられた体操なのでしょうね。たかがラジオ体操、されどラジオ体操。
今回の運動会に向けて、子どもたちは、こんな動きに注目して練習してきました。

☞　次の動きにつながる「号令８」の動きとのその大切さ
☞　体を前後に曲げる運動では、「号令４」「号令８」において、腕が両脇（気をつけの姿勢）になること。
☞　軽く手を握って運動する箇所が数箇所あること。

学年の実態に応じて練習を重ねてきましたが、当日は是非お子様と一緒に運動量のあるラジオ体操第一に挑戦されてはいかがでしょうか。

【授業力向上を目指して】

子どもたちは、毎日、担任の先生やその他の先生方に学習内容を教えてもらいます。そんな中、大切にしていきたいのが、先生方の発問です。発問とは、「授業中に教師が行う意図的な問いかけ」のことをいいます。保護者の皆様も、授業参観等で聞かれたことがあると思いますが、「先生が子どもたちに話しかける言葉かけ」のこととも言えます。教師になると、この発問を精選したり、吟味したりして授業に臨むことが大切になってきます。よい発問は、

☞　子どもたちのやる気を引き出すことができる。
☞　子どもたちの意見を引き出すことができる。
☞　子どもたちの思考力・判断力を伸ばすことができる。
☞　一人一人が学級の一員という気持ちが高まり、居心地のよい学級になる。

そのためには、※学年の実態よって違いますが。

☞　子どもたちにとって、言葉が短くわかりやすい発問であること。
☞　発問の意味が明確であること。
☞　子どもたちの実態に合った発問であること。
☞　子どもたちの興味・関心を引く発問であること。
☞　意図的な発問であること。
☞　子どもたちの多様な意見にも対応できる発問であること。
☞　行動をするための直接の言葉かけではなく、子どもたちが思考・判断できる発問であること。
☞　子どもたちに「えっ。」と思わせる意外性のある発問であること。等

他にもたくさん考えられます。

延期になったこと等から、学校行事は多くなりますが、そんな中でも子どもたちの学びを保障できるよう、また質の高い教育が提供できるよう取り組んで行きたいと思います。

【引き渡し訓練】

【運動会全体練習】

【修学旅行】